



2023年3月期第2四半期 決算説明資料

2022年11月30日(水)

オーウエル株式会社 (証券コード:7670)



目次

| | |
|-----------------------|----|
| 1. はじめに | 3 |
| 2. 2023年3月期第2四半期 決算概要 | 12 |
| 3. 2023年3月期の見通し | 19 |
| 4. 中期経営計画の進捗 | 23 |

1. はじめに

当社の概要

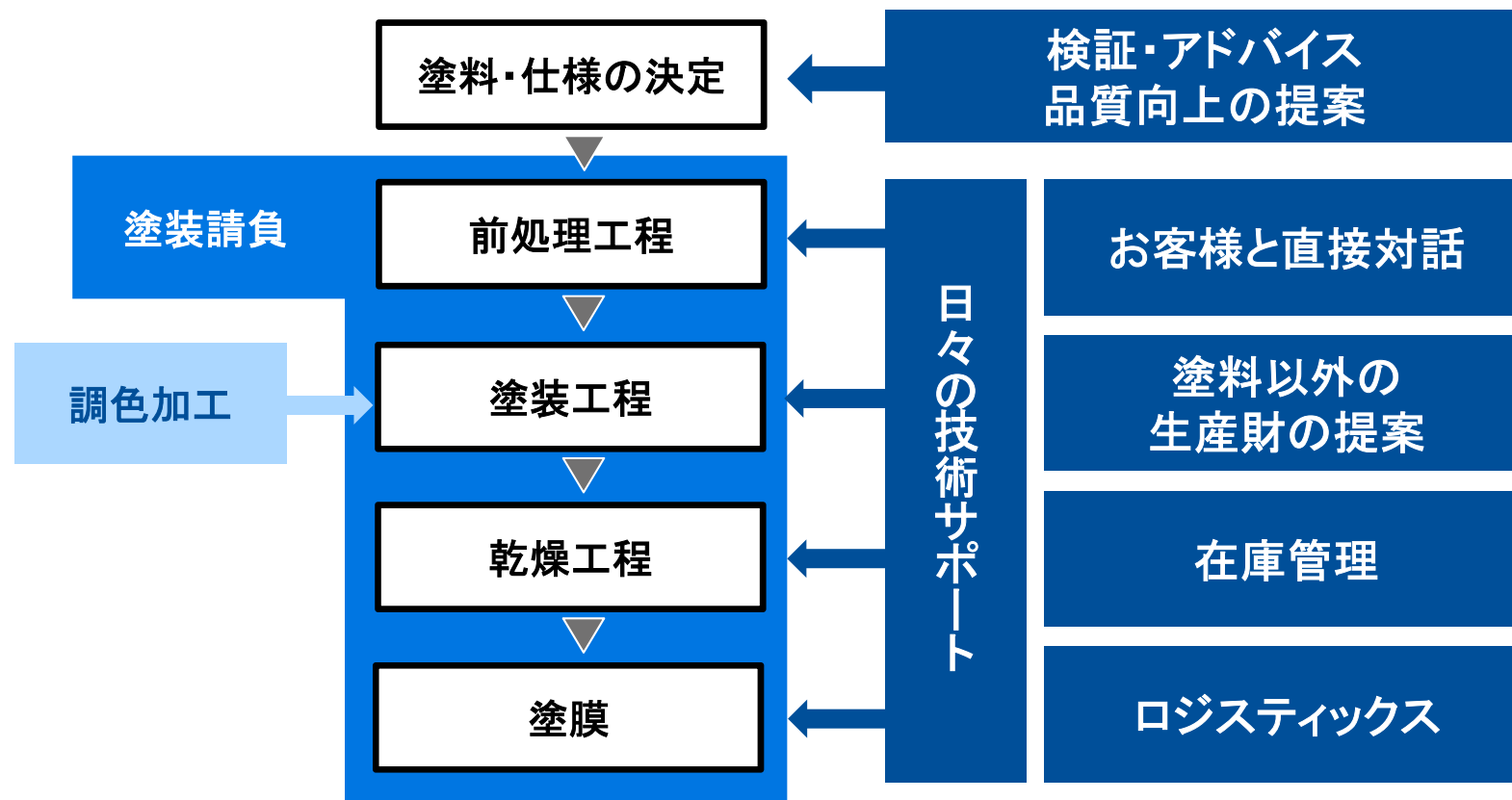
工業用塗料販売で国内トップクラスの塗料関連事業を主として、
センサーを中心とする電気・電子部品事業をグローバルに展開する生産財商社

| | |
|------|---|
| 商号 | オーウエル株式会社 O-WELL CORPORATION |
| 設立 | 1943年11月 |
| 所在地 | ●本社：大阪市西淀川区御幣島5-13-9 ●東京：東京都品川区北品川3-6-17 |
| 資本金 | 8億5,786万円 |
| 代表者 | 代表取締役社長 川戸 康晴 |
| 事業内容 | ●塗料関連事業 ●電気・電子部品事業 |
| 従業員数 | ●連結：646名（2022年3月末現在） [116名] ※[]は平均臨時雇用人員で外数 |
| 関係会社 | ●連結子会社：17社 ●持分法適用関連会社：4社 |

【強み】 商社の枠を超えた事業展開

ものづくり企業のプロセスの幅広い工程で価値提供が可能

塗料関連事業



【強み】 商社の枠を超えた事業展開

ものづくり企業のプロセスの幅広い工程で価値提供が可能

電気・電子部品事業

営業

最適なソリューションの提案

- ▶ マーケティング
- ▶ お客様と直接対話
- ▶ 生産財の提案

グローバル
物流

国内外問わず
安定供給を実現

- ▶ ロット管理
- ▶ 複数拠点での在庫管理
- ▶ デイリー納品

技術サポート

製品開発を
サポート

- ▶ 検証・アドバイス
品質向上の提案
- ▶ 新製品開発の支援

品質管理

不良品の
市場流出を防止

- ▶ 外観検査
- ▶ 不具合解析

【強み】 長年培ってきた課題解決力

さまざまな環境・条件においても安定した品質を提供

- 厳しい水準が求められる業界で
長年培ってきた技術力を多方面へ展開



自動車の塗装工程イメージ

- 航空宇宙品質マネジメントシステム規格
AS/EN9120(※)認証を取得

※ ISO9001要求事項に航空、宇宙及び防衛分野についての
要求事項を追加した、物流業者や商社向けの規格

適用範囲：東京店の一部及び栃木営業所

品質マネジメントシステム ISO9001
環境マネジメントシステム ISO14001認証も取得済み

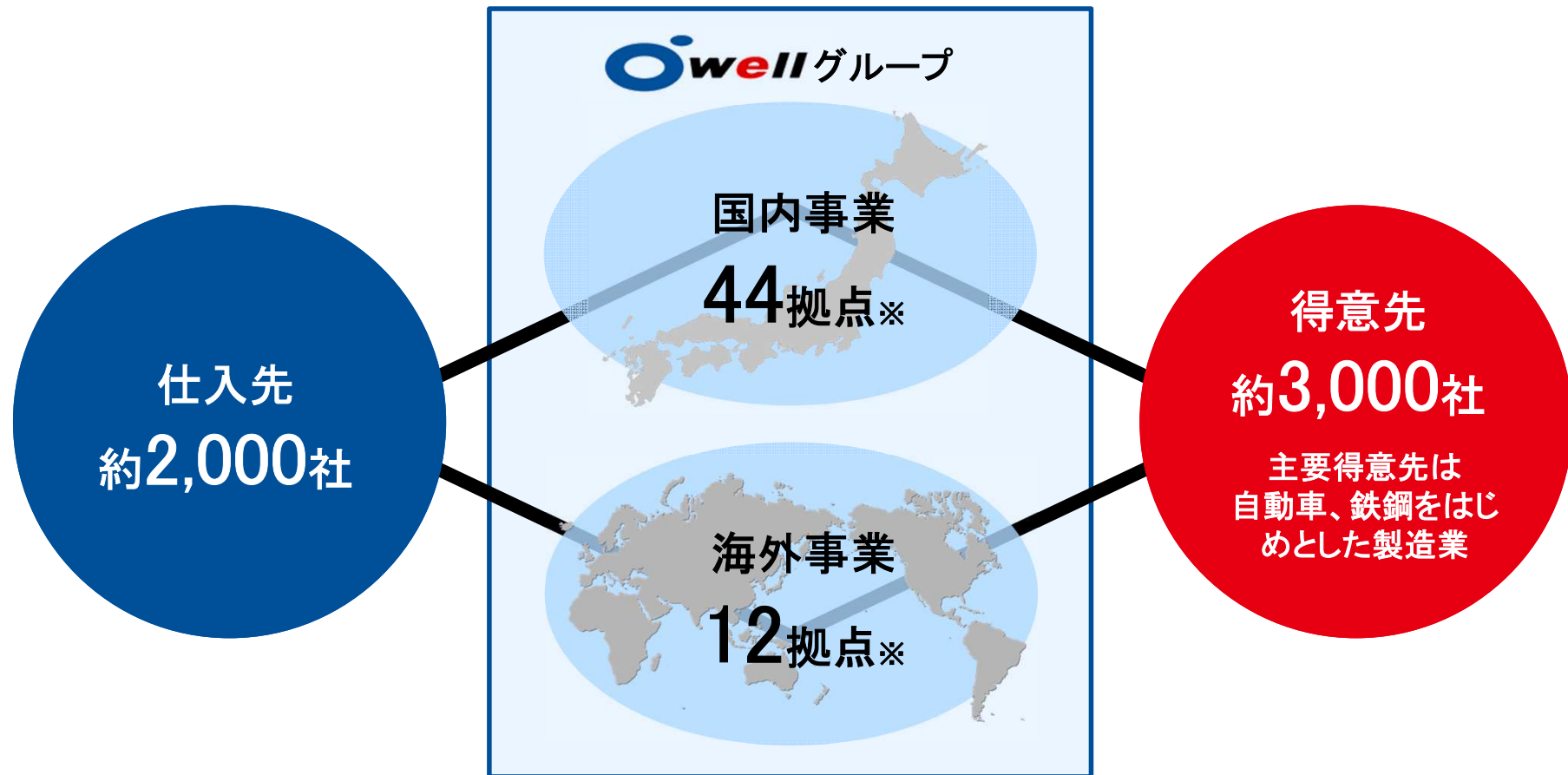


2020年7月16日 IRニュース



【強み】 安定した事業基盤

80年の歴史を重ねた信頼・信用に基づく多くの取引先



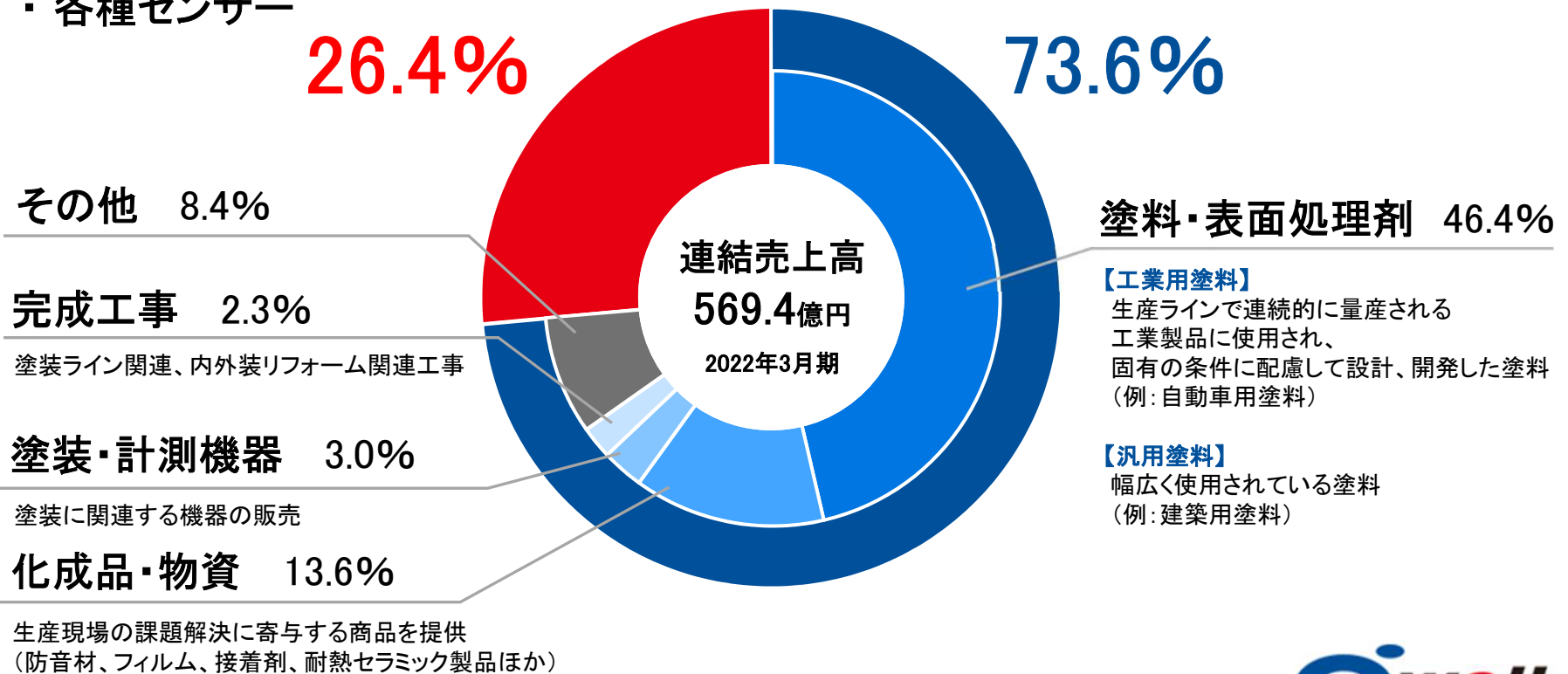
※ 営業所、子会社、子会社の支店及び工場等の拠点を含む

事業内容と売上構成

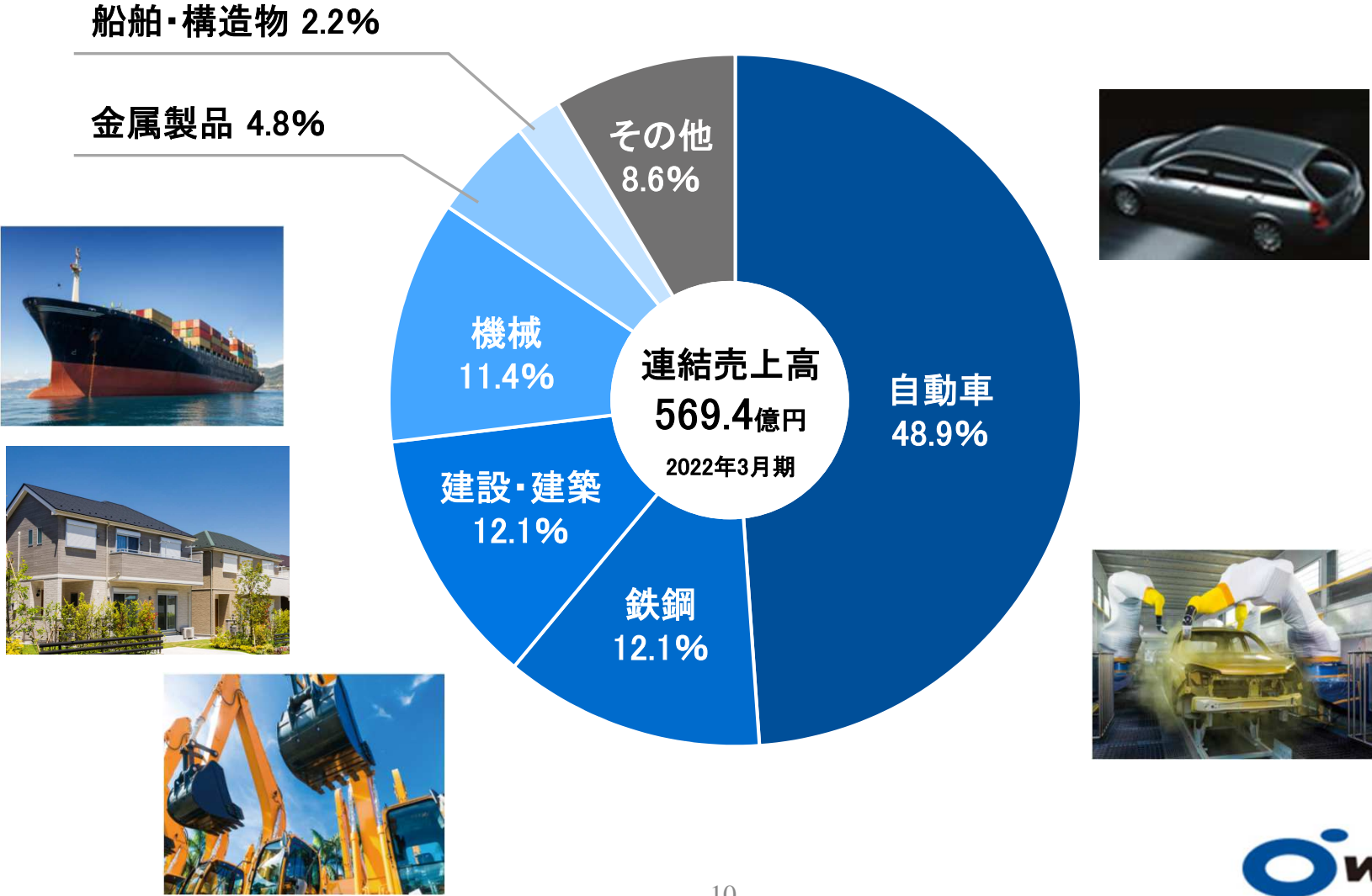
電気・電子部品事業

- ・ ホールIC(磁気センサー)
- ・ LED照明製品
- ・ 各種センサー

塗料関連事業



業種別売上構成



拠点

国内拠点

全国各地に広がるネットワーク(44拠点※)



本社(大阪市西淀川区)



東京店(東京都品川区)

※ 営業所、子会社、子会社の支店
及び工場等の拠点を含む



グループ会社

- **サンマルコ株式会社**
塗装工事、防水工事、ガラス工事、
内装仕上工事等の請負及び設計・監理
- **オーウエルスーパービルド株式会社**
塗装工事、土木工事、とび・土工工事等の請負及び設計・監理
- **オー・イー・シー株式会社**
外装建材、建設機械、産業用ロボット等の塗装請負
- **株式会社オーウエルカラーセンター**
塗料の調色請負・塗板見本の製作受託
- **大洋ケミカル株式会社**
塗料の調色請負
- **ユニ電子株式会社**
半導体・集積回路・電子部品の販売・輸出入

海外拠点

- **中国**
奥唯(大連)貿易有限公司
奥唯(上海)貿易有限公司
奥唯(深圳)科技貿易有限公司
- **韓国**
O-WELL KOREA CORPORATION
- **インドネシア**
PT. O WELL INDONESIA
- **タイ**
O-WELL (THAILAND) CO., LTD.
- **ベトナム**
O-WELL VIETNAM CO., LTD.
- **ドイツ**
O-WELL GERMANY GmbH
- **メキシコ**
O-WELL Mexico Coatings & Electronics S.A. de C.V.
- **シンガポール**
UNI-ELECTRONICS PTE LTD.
- **香港**
UNI-ELECTRONICS (HONG KONG) LTD.



2. 2023年3月期第2四半期 決算概要

決算のポイント

1. 国内自動車産業における半導体等の部品調達状況が一定の回復が見られたことより、生産台数が前期比増となり、売上高、利益ともに前期比増

2. 中間配当は7円とする
(期末配当予想:13円、年間配当予想:20円)

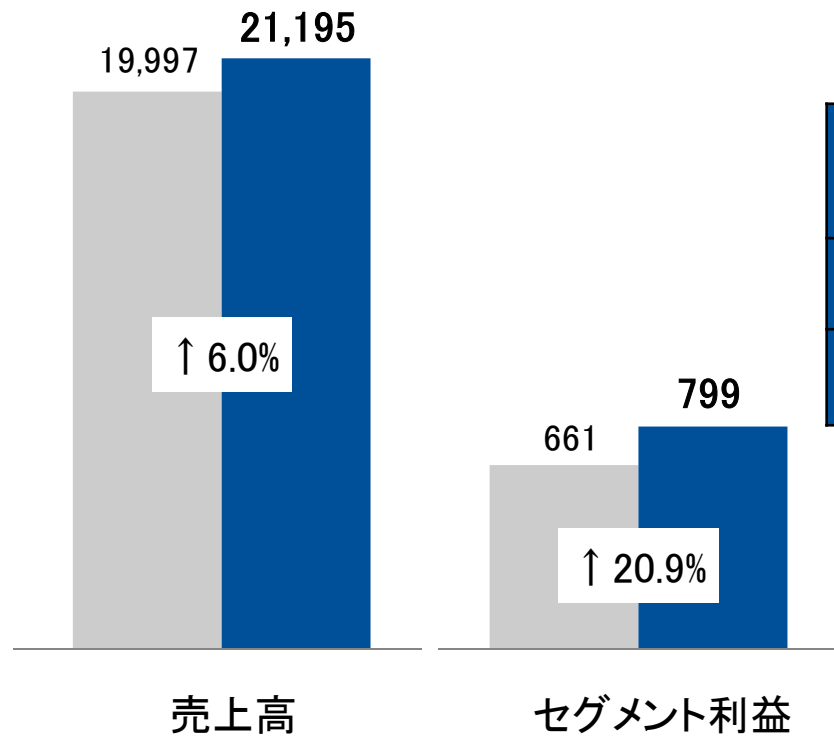
決算実績サマリー

(単位:百万円)

| | 2022年 3月期 2Q実績 | 2023年 3月期 2Q予想 | 2023年 3月期 2Q実績 | 前期比 (差額) | 予想比 (差額) | 前期比 (増減率) | 予想比 (増減率) |
|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------|-------------|--------------|--------------|
| 売上高 | 27,110 | 30,000 | 29,292 | 2,182 | ▲708 | 8.1% | ▲2.4% |
| 営業利益 | 4 | 150 | 132 | 128 | ▲18 | - | ▲12.0% |
| 経常利益 | 145 | 250 | 326 | 181 | 76 | 124.2% | 30.4% |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | 86 | 150 | 183 | 97 | 33 | 112.8% | 22.0% |
| 一株当たりの 四半期純利益(円) | 8.31 | 14.51 | 17.98 | 9.67 | 3.47 | 116.4% | 23.9% |
| 配当(円) | 5 | 7 | 7 | 2 | 0 | 40.0% | 0% |

■産業別の売り上げ実績については
前期比増(+):自動車、鉄鋼、建設・建築、金属製品、船舶・構造物

セグメント別動向 塗料関連事業



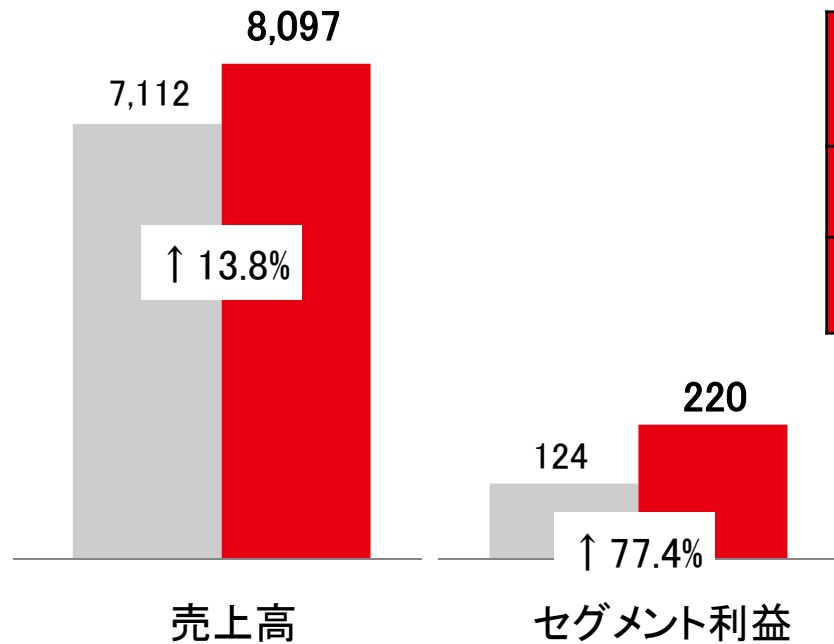
(単位:百万円)

| | 2022年 3月期 2Q実績 | 2023年 3月期 2Q実績 | 前期比 (差額) | 前期比 (増減率) |
|---------|----------------------|----------------------|-------------|--------------|
| 売上高 | 19,997 | 21,195 | 1,198 | 6.0% |
| セグメント利益 | 661 | 799 | 138 | 20.9% |

- 前第2四半期累計期間と比較して、当社得意先である自動車メーカーの生産台数が増加したことにより、売上高、利益ともに増
- 鉄鋼、船舶・構造物において、生産回復やシェアアップ・新規案件受注もあり、前期比増

セグメント別動向 電気・電子部品事業

(単位:百万円)



| | 2022年 3月期 2Q実績 | 2023年 3月期 2Q実績 | 前期比 (差額) | 前期比 (増減率) |
|---------|----------------------|----------------------|-------------|--------------|
| 売上高 | 7,112 | 8,097 | 985 | 13.8% |
| セグメント利益 | 124 | 220 | 96 | 77.4% |

■ 主力商材であるホールICビジネスは為替の影響、また子会社であるユニ電子(株)において、ドライブレコーダー用ソフトウェアの販売が好調に推移したこと等により、売上高、利益ともに増

連結キャッシュ・フロー

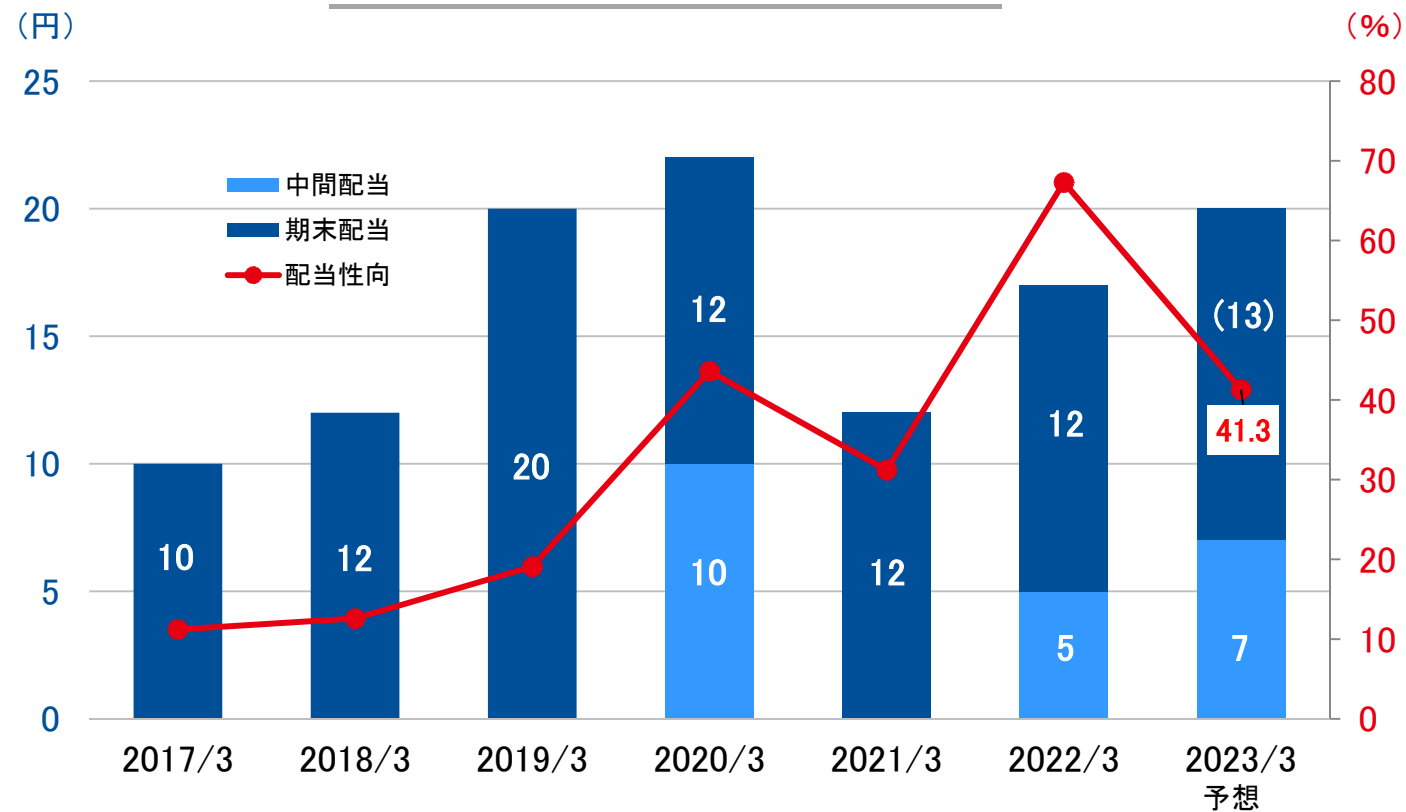
(単位:百万円)

| | 2022年 3月期 2Q実績 | 2023年 3月期 2Q実績 | 前期比 (差額) | 主なポイント |
|-------------------------|----------------------|----------------------|-------------|------------------|
| 営業活動による キャッシュ・フロー | ▲462 | ▲470 | ▲8 | 安定供給のための 在庫増加 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー | ▲226 | ▲200 | 26 | 販売管理システムの更新 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー | ▲75 | ▲23 | 52 | |
| 現金及び現金同等物に 係る換算差額 | 45 | 108 | 63 | |
| 現金及び現金同等物の 増減額(▲は減少) | ▲718 | ▲587 | 131 | |
| 現金及び現金同等物の 期首残高 | 6,067 | 4,416 | ▲1,651 | |
| 現金及び現金同等物の 四半期末残高 | 5,348 | 3,829 | ▲1,519 | |

配当

中間配当については当初予想通り7円とし、期末配当予想は13円とする

1株当たり配当金・配当性向



3. 2023年3月期の見通し

予想のポイント

1. 国内の経済状況については、引き続き不透明な状況が続くものの、自動車産業をはじめとして、その他産業についても緩やかに回復に向かうと推測
2. 売上高・利益ともに5月12日公表の業績予想どおり、前期比増収増益を見込む
3. 期末配当予想は13円とし、中間、期末ともに前期比増配の見通し
(中間配当:7円、年間配当予想:20円)

2023年3月期 連結業績予想

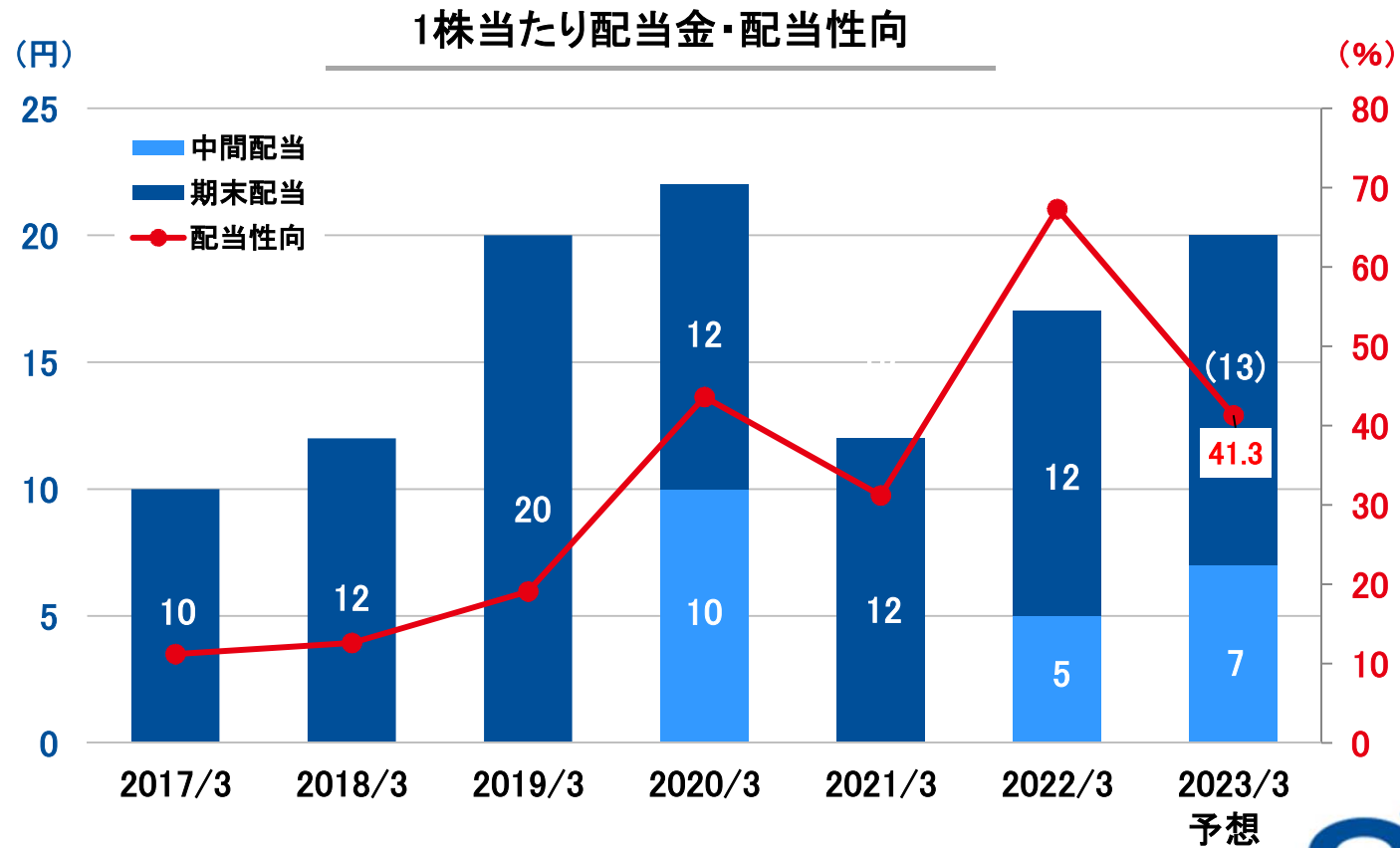
(単位:百万円)

| | 2022年3月期 実績 | 2023年3月期 予想 | 前期比 (差額) | 前期比 (増減率) |
|---------------------|------------------|------------------|-------------|--------------|
| 売上高 | 56,945 | 62,000 | 5,055 | 8.9% |
| 営業利益 | 229 | 600 | 371 | 162.0% |
| 経常利益 | 501 | 800 | 299 | 59.7% |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 261 | 500 | 239 | 91.6% |
| 一株当たりの 当期純利益(円) | 25.27 | 48.37 | 23.10 | 91.4% |
| 配当(円) | 17 (中間5/期末12) | 20 (中間7/期末13) | 3 | 17.6% |

■自動車産業をはじめ、その他産業についても緩やかな回復を見込み、
連結業績は前期比増と予想

株主還元

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識しており、持続的な成長と企業価値向上のため、財務体質の強化と事業拡大のための内部留保を確保しつつ、安定的かつ継続的な配当を実施していくことを配当政策の基本方針としております



4. 中期経営計画の進捗

ものづくり現場のパートナーとなり、 人々の未来を豊かにする - We are **Owell** ! -

「ものづくり現場」のデジタル化とグローバル化

SDGsへの貢献

(Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)

我々がお取引先様とともにつくる製品やサービスが、
世界中の人々の生活を豊かにしていき、それが将来にわたって永続することを目指す



中期経営方針

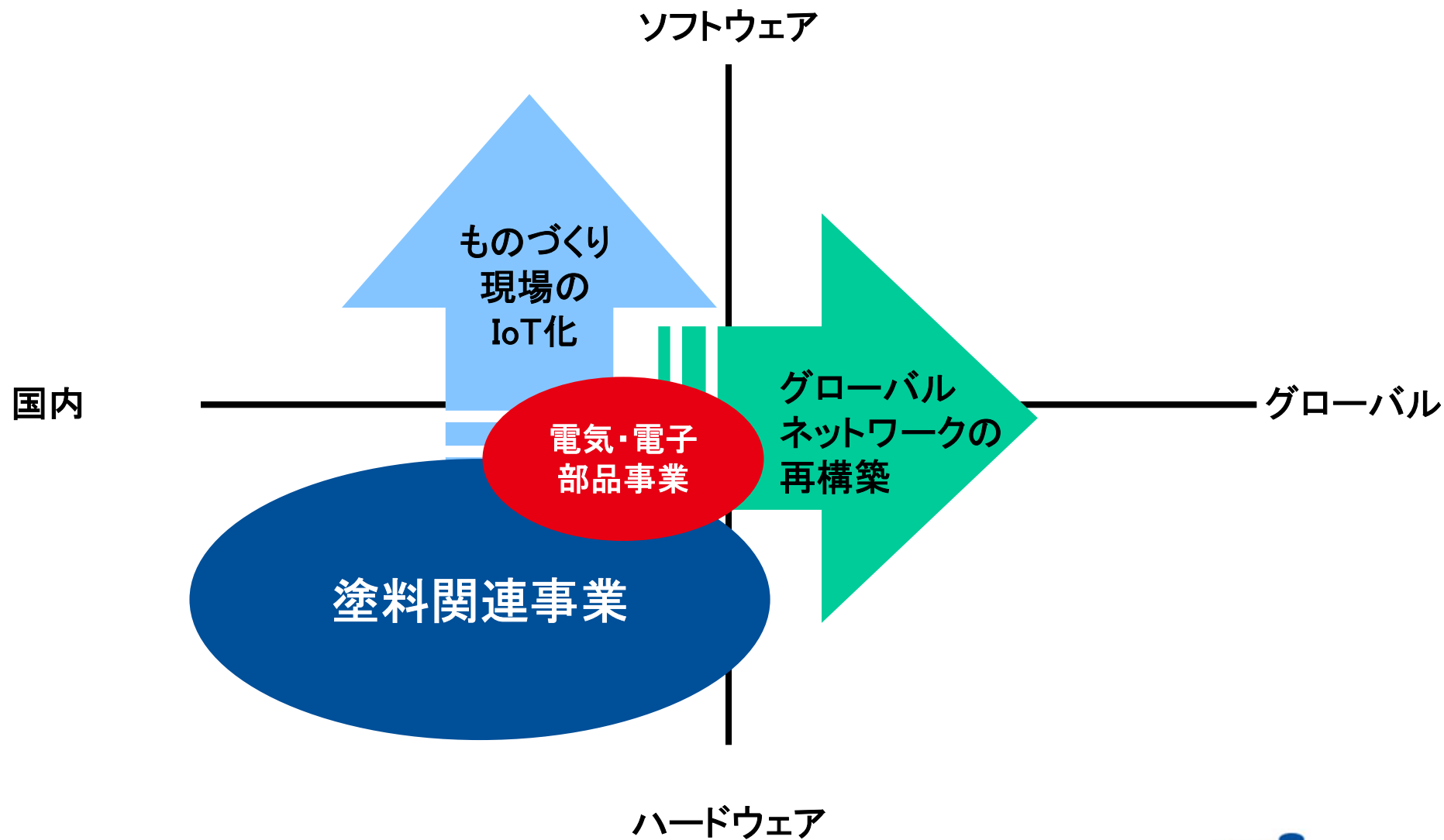
取引先の課題を明らかにし、
その課題を解決するために考動する

中期重点方針

中期重点方針

| | |
|-----------|----------------------|
| 共通事項 | マーケティング(需要創造)活動を強化する |
| 塗料関連事業 | 提供価値を変革する |
| 電気・電子部品事業 | DXのトレンドを掴む |
| 経営基盤 | 収益体質を強化する |

当社グループの事業領域



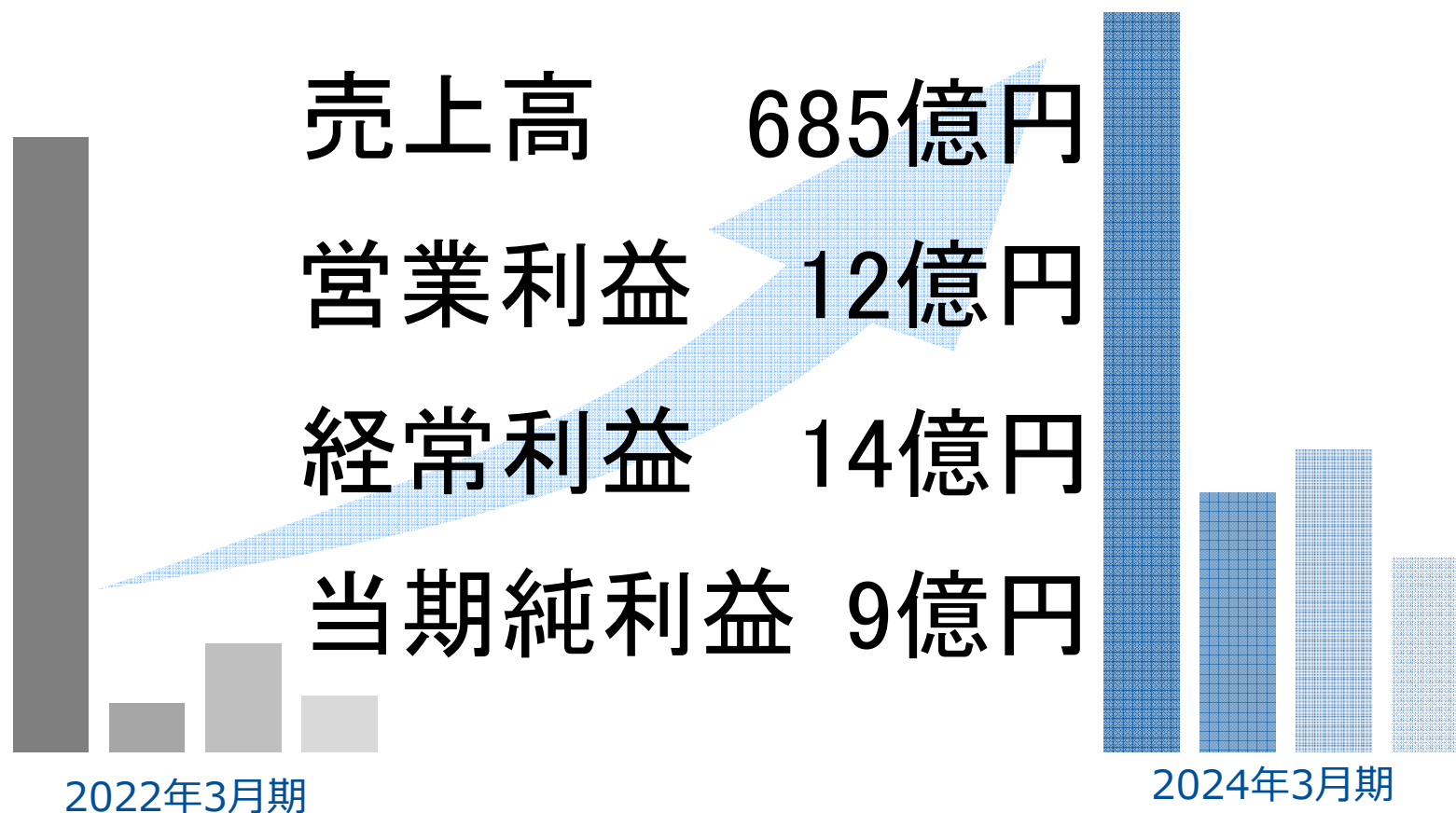
持続可能な開発目標 (SDGs) に向けた取り組み

オーウェルグループとして貢献する目標



目標値

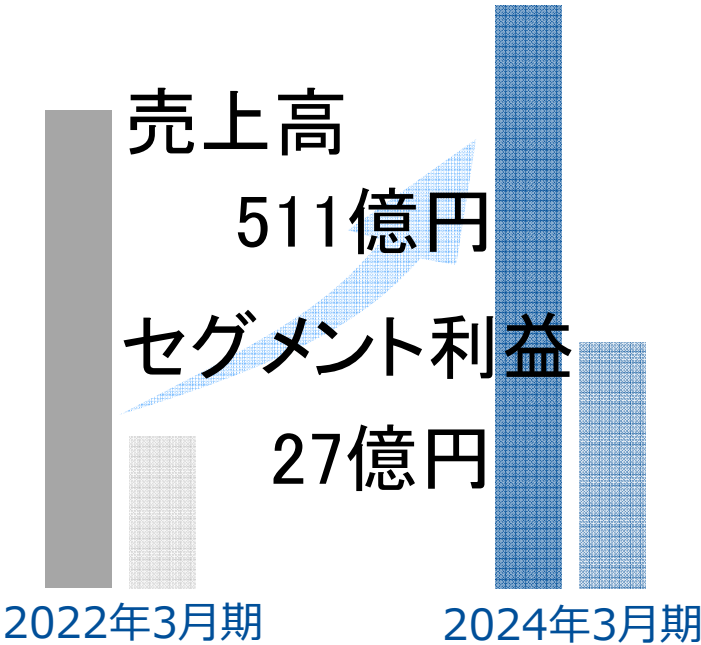
2024年3月期目標(連結)



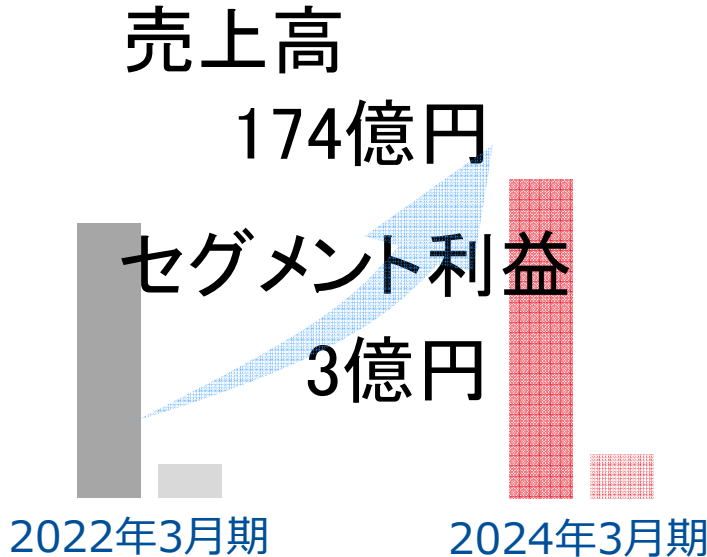
事業セグメント利益目標値

2024年3月期目標(連結)

塗料関連事業



電気・電子部品事業



中期経営計画における取り組み①

中期重点方針

| | |
|--------|----------------------|
| 共通事項 | マーケティング(需要創造)活動を強化する |
| 塗料関連事業 | 提供価値を変革する |

- 塗装現場管理システム「OLDAS」の開発
「OLDASⅢ」を開発中
- グローバルネットワークの再構築
海外子会社が提供する物流IoTシステムソリューションを展開
- カーボンニュートラル達成への貢献
塗装工程における環境負荷低減提案を展開、
得意先の社会課題への商材提供

中期経営計画における取り組み②

中期重点方針

| | |
|-----------|----------------------|
| 共通事項 | マーケティング(需要創造)活動を強化する |
| 電気・電子部品事業 | DXのトレンドを掴む |

- 車載マーケット、CASE(特にA:自動運転、E:電動化)での需要創造
組込用モータコントローラの量産納入を開始予定
- DXを捉えた新たなマーケットでの需要創造
センサービジネスの拡大、省エネビジネスへの展開

中期経営計画における取り組み③

中期重点方針

経営基盤

収益体質を強化する

- **業務の効率化**
新販売管理システムの稼働開始（2022年9月）
- **物流の再構築**
国内の物流課題解決に向けた企画に着手
- **社員の心身の健康、多様な働き方への取り組み**
各種社内制度の改正（男性育休制度等）
各種手続きの電子化（年末調整等）
従業員満足度向上のための施策の拡大（ライフプランセミナー等）



取り組み事例① グローバルネットワークの再構築

海外子会社が提供する物流IoTシステムソリューションを展開

《ASEAN地区日系企業における倉庫管理の課題》

- ・ 人為的なミスや棚卸で誤差が発生してしまう
- ・ 在庫管理は資源投入の対象にならない
- ・ 人件費上昇・雇用不安定で、離職・転職者も多い



倉庫管理ツール(RFID・ソフトウェア・リーダーの組み合わせ)を提案

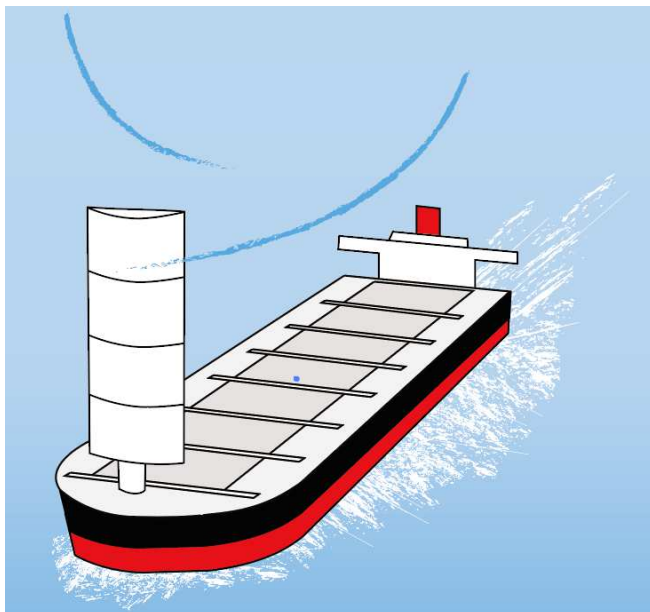
→ 在庫の入荷から出荷までの情報を管理

- ・ 属人化していた作業を誰でも可能な作業へ
- ・ 在庫状況、作業進捗をリアルタイムで可視化
- ・ 作業効率向上、人件費削減



取り組み事例② カーボンニュートラル達成への貢献

ウインドチャレンジャーへの商材提供



樹脂製の硬翼帆によって風から推進力を得ることで、
温室効果ガスでは約5～8%の削減効果
燃料費では約8～10%の削減効果が見込まれる

当社グループにて
硬翼帆の一部材料(樹脂)の供給とフィルム施工を実施

取り組み事例③ 車載マーケットでの需要創造(CASE)

マイクロコントローラ テクノロジー

・・・モータに小さなICチップを組み込み、制御する技術

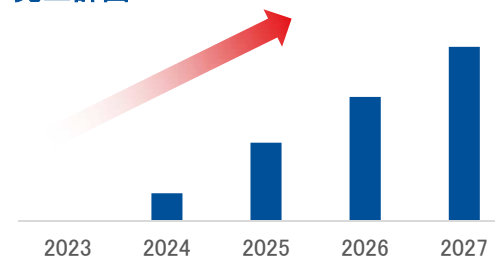


「ハードとソフトをワンストップで提供」

2024年度より納入開始予定

2025年度に10億円の売上目指す

売上計画



免責事項および将来見通しに関する注意事項

免責事項

- この資料は投資家の皆様の参考に資するため、オーウェル株式会社(以下、当社という)の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
- 当資料に記載された内容は、現時点において一般的に認識されている経済、社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statement)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新、修正を行う義務を負うものではありません。

お問い合わせ先

- 取締役 総務部・人事部・経理部・品質保証部担当 大野 善崇
TEL: 06-6473-0138

Ö*well*